

議会だより はこね



町の未来を担う新規採用職員を迎えて！

主な内容

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| ● 一般質問 P 2～6 | ● 委員会報告 P 11 |
| ● 1月臨時会 P 6 | ● 議員活動報告 P 12～15 |
| ● 3月定例会・賛否 P 7 | ● 議長フォトレポート P 15 |
| ● 予算質疑 P 8～10 | ● 議会報告会案内・6月定例会の日程 P 15 |
| ● 予算討論（賛成・反対討論） P 10 | ● 「パウル・シュミット」の顕彰碑 P 16 |

※2次元コードを読み取ると、各議員の一般質問動画がご覧になれます。

山田 和江	鈴木 美貴	村野由紀子	丸子 英人	折橋 尚道	遠藤 秀則	佐藤 章子	勝俣 陽二	質問者	質問内容	ページ
・町長施政方針	・町民生活の利便性向上 ・安心・安全なまちづくり ・多文化共生事業 ・公共施設等総合管理計画 ・学校教育の充実 ・駅など主な交通拠点の機能充実	・さわやか行政サービス運動 ・防犯施策	・箱根ブランド強化に対する郷土資料館や各観光施設、史跡等の利活用 ・学芸員の配置状況と働き方	・(仮称)温泉地域診療所 ・持続可能なまちづくりとして地域コミュニティのあり方	・湯本駅前渋滞	・将来の広域化への考え方 ・箱根ブランドの維持向上	・箱根町における地域経済の循環			6
										5
										4
										3
										2

町の考え方を問う！

一般質問

3月定例会では、町政全般について、8人の議員が、17項目にわたる一般質問を行いました。質問者及び質問項目は、左の通りです。原稿については質問議員が作成しています。なお、掲載にあたっては紙面の都合上、質問内容、回答共に、抜粋したものととなっておりますので、ご了承ください。

「地域通貨」導入の検討を

勝俣 陽二 議員



町 ニーズや費用対効果を十分に検討する

問 将来、町に対しての大きな課題となっている「流出の少ない経済をつくっていくか」に対しては

「地域通貨」の導入が有効である。この「地域通貨」とは、地域内に限定して利用できる通貨であるため、地域内決済を促進することから、地域経済の活性化が期待でき、また、住民だけでなく観光客を含めた人々の店舗や施設で利用促進につながり、地域経済の循環に寄与する。さらには、使用期限などを設けることもできるため、流通スピードも高めることができる。これらのことから「地域通貨」の導入について、検討をしていただきたいが、町の見解を伺う。

答 **企画課長** 地域通貨については、経済循環という目的の他に地域事業者と住民やあるいは住民同士の間で、感謝や応援のためにチップのような意味合いで通貨を配り合った

り、行政側から住民に通貨をポイントとして付与して社会的な取り組みへの参加を促したり、地域のコミュニティの活性化にも寄与している事例も複数あると聞いている。そういった地域限定の通貨の取り組みについては興味深いものであるが、どれだけ町民の使用ニーズがあるのか、費用対効果を十分に検討していかなければならないと感じている。



箱根ブランドの維持・向上についてのは



佐藤 章子 議員



町 郷土箱根は豊かな自然環境であり、財産である

問

町長所信表明に度々登場する「箱根ブランドの維持・向上」だが、現在の箱根町内の様子は箱根らしからぬ状態が顕著にみられる。スタッフのいない無人宿泊所の増加、開発の為に植栽伐採の連鎖、箱根の景観に溶け込まない色彩の建物により「箱根ブランドの低下」を招いているように思われるが。

と考えている。

「都市づくりの目標」を掲げ、「都市計画マスタープラン」の着手や「箱根景観条例」の再検討など、「訪れて満たされる活力ある町の創造」に取り組んでいく。

答

町長 コロナ禍が終息し経済活動も活発になってきており、宿泊施設等の建設や開発が再開されている状況で町内に活気が感じられてきている。

今を生きる私たちは箱根のブランド力を将来にわたって守り磨き、継承していかなければならない責務がある。このため、自然環境を保全し適切な制限のもとで秩序ある土地利用を行い、自然と共存しながら持続可能な都市づくりを行っていくことが最大の使命だ



大石が放置されている危険な建築物

湯本駅前の渋滞緩和策は？



遠藤 秀則 議員



町 改善へと強く要望をしていく

問

施政方針において、施策でブランド力の強化の中で湯本駅前の交通渋滞を挙げているが、未だ解決に至っていない。渋滞については私も過去何回か質問しているが、未だに解消がされず、歩行者の乱横断と白バイによる取り締まりで町民や旅行者の多くが検挙され、歩行者の指導・呼びかけもない現状をどう思うか。

答

町長 取り締まりをしていることは町も認識している。歩行者の安全面と渋滞に対しての配慮もお願いしている。

問

交通整理員は、車両や歩行者の横断を規制する権限がなく、許可はできないとあるが、本来、交通渋滞対策は警察がやるべきもので、警察で交通整理をするよう小田原警察署に話ができないか。

答

町長 町として要請は再三行っているが、歩行者優先の

ため車両を優先的にできない。このため、渋滞緩和には繋がらない。

問

温泉場入口について、横断歩道と車両の出入りがあるが、入口を一方通行にできないのか、また久野林道の一般道への実現に向けて要望するところがあるが、久野林道は金時林道より利用頻度が多く、一般道への実現に向け要望をお願いするがいかがか。

答

町長 引き続き強く要望をしていくので、後押しの方よろしく願いたい。



湯本駅前の横断歩道

(仮称) 温泉地域診療所の 開業はいつ？



折橋 尚道 議員



町 令和8年秋開業に向けて準備している

問 町長施政方針の中で、(仮称) 温泉地域診療所については、診療所建設用地を昨年取得し、設計に着手しており、令和8年中の診療所開設を目指して、着実に取り組んでいるとの言葉があり、計画は順調に進んでいると確信するが、具体的な開院までの予定を伺う。

いる。
答 建設工事や開業に関する地域説明会の予定はどのように進めるのか。

問 建設工事や開業に関する地域説明会の予定はどのように進めるのか。

答 保険健康課長 工事説明については工事請負業者が決まり次第調整をするので、令和7年9月頃を予定し、診療所の運営に関する基本的な内容や開院日についての説明会は、令和8年度の早い時期にと考えている。

問 町長 今年度、設計業務委託を行っており、建物全体の配置、建物内の居室の配置、電気設備、給排水設備、空調や換気設備など各分野の基本設計とそれを基に詳細部分までの実施設計を行う。

答 診療所建設工事の発注は、令和7年の9月議会に上程し、議会の承認が得られました後、9月中に本契約を締結し、10月からの工事着工を予定する。

工期は10か月程度を要する見込みで、引き渡しは令和8年7月末となり、開業は早くても秋ごろになると見込んで



診療所予定地

観光施設と学芸員の活躍を 求める



丸子 英人 議員



町 箱根ブランド強化に向けた活躍を期待

問 町長の目指す箱根ブランド強化について、郷土資料館や各町立観光施設等の利活用を進めることでブランド力の向上が図れると考えるが町長の考えを伺う。

答 町長 郷土資料館と各観光施設はそれ自体が町の財産であり、それぞれが有するコンテンツをくまなく利活用することが町全体の活性化につながると考える。

問 郷土資料館や各観光施設には学芸員が配されているが、どのような活躍を求めるのか？町の考えを伺う。

答 町長 郷土資料館では箱根の歴史や遺産を保護活用しながら研究成果を積み重ねる等。箱根ジオミュージアムでは地質学の知見を活かし関係自治体との連携を深め館の底上げの原動力となる等。湿生花園では園の管理のほか、学芸員実習生の受け

入れを進め人材育成に寄与する等。森のふれあい館では野生動物との共存の観点から自然保護思想の普及啓発に取り組む等を期待している。

問 関連質問としてジオミュージアムの火山性ガスの影響について対策を伺う。

答 町長 健康診断を年2回実施する等、今後も細心の注意を払う。

問 観光課長 施設の換気を十分行い、職員間のコミュニケーションを重視し、特段の配慮をもって職務遂行に努めている。

答 観光課長 施設の換気を十分行い、職員間のコミュニケーションを重視し、特段の配慮をもって職務遂行に努めている。



森のふれあい館の野鳥展

防犯対策補助金の新設を

村野 由紀子 議員



町 個人への補助も検討する

防犯の整備や状況は？

問

答

町長 観光街路灯は各自治会に補助を行っている。電気料は要した費用の85%、観光街路灯の新設・改良・撤去等は、限度額を7万円から最大20万円として70%の補助や不点灯等の修繕の補助も行い自治会の負担軽減を図っている。

また、自治会等の団体に対して防犯カメラの購入費用の75%を補助しているが、申請実績はなし。迷惑電話防止機能付電話機を購入した70歳以上の方に一部補助を行い実績は23世帯。なお、特殊詐欺の被害は6年度は0件、7年度に入り1月末までの間で2件、約100万円の被害が発生している。

問

災害ベンダー自販機に防災カメラの併設はできないか。

答

町民課長 町が協定を結んでいるコカコーラボトラーズ



答

町民課長 個人への補助も検討する。

問 ジャパン株式会社では防犯カメラの設置機能は無いと聞いており、キリンビバレッジ株式会社は神奈川県警察・神奈川県と3社協定を結んでいる。小田原警察署からもおしやり機能・防犯カメラ付自動販売機の設置場所情報を求められていることから協力していく。

問

防犯対策補助金を新設し個人に防犯カメラ、人感センサーライト、防犯ガラス、防犯フィルムや既に行っている迷惑電話防止機能付電話機などを対象とした補助ができないか。

移動スーパーの現状と今後の改善点は

鈴木 美貴 議員



町 臨時便の運行や拠点の追加を要望した

移動スーパーの現状と今後の改善点について伺う。

問

答

町長 各地域とも1日50人から80人と利用者が多いことから平均して15分から20分の遅れが生じ、後半になると品物不足がみられ、販売拠点の空白地域から追加の要望も寄せられていることから、マックスバリュ東海に臨時便の運行や拠点の追加を要望した。マックスバリュ東海では、湯本地区は小田原市の店舗の活用、その他の地区は御殿場市の他の店舗を活用し箱根のコース再編を計画している現状で、御殿場市や小山町のコースを巻き込む再編となることから、早くても6月以降になるとの回答である。

問

学校教育の充実として、中学生の模擬試験検定料の補助や大学の一般受験料の負担軽減の考えは？

答

町長 中学校では模擬試験を実施していないが、民間企

業が作成した学力診断テストを年2回実施。また、高等学校入学試験の受験対策として土曜塾を開講し、生徒が「行ける高校」ではなく「行きたい高校」合格に向けたサポートをしており、模擬試験受験料補助の考えはない。大学一般受験料の負担軽減については、町の奨学金制度により負担軽減に寄与しており受験料の負担軽減の考えはないが、高校や大学等へ進学を希望する生徒や学生、保護者を支援していく。



移動スーパーの様子（旧湯本中学校グラウンド）

国道1号の交通渋滞緩和対策は 全町民運動を起こすべきではな いか



山田 和江 議員



町

運動を起こすことを期待もしている

問

国道1号の交通渋滞は観光だけでなく、住民生活にも大きな影響を与えていることから、私は「交通整理員の配置」や「警察による実証実験」の提案をしてきたが、関係機関への働きかけと協議についての感触はどうか。

答

町長 「信号機の設置」と「交通整理員の配置」「足柄幹線林道の一般道化」について協議をしてきたが、町の提案は全て却下された。その後、県の関係機関に建設、自治会、観光協会、宿泊業関係者の生の声を聞いてもらい、私も直接知事へお願いをした。現在、「信号機の設置」「温泉場入口のバス停の移設」は実現に向けて進んでいると思う。

問

旧物産館の所の横断歩道で警察が取り締まりをしているが、町から申し入れをしてやめさせるべきだ。隠れて姑息な取り締まりをするよ



交通渋滞の原因となっている歩行者の横断

答

町長 私も白バイなどが待機している時間、歩道に立つてと警察に話したことはあるがやめろとは言えない。運動を起こすことを期待もしている。

1 月 臨 時 会 (1月29日)

議 決 件 数 (1 件)

補正予算 (1 件) 可 決

議案第1号 令和6年度箱根町一般会計補正予算 (第5号)

補正額 6億4,314万2,000円

主な内容

- ふるさと納税促進事業追加 2億6,897万9,000円
- 財政調整基金積立金追加 2億8,102万1,000円
- 物価高騰対策給付金給付事業 5,952万1,000円
(令和6年度住民税非課税世帯1世帯3万円
18歳以下の子ども1人につき2万円を加算)
- 定額減税不足額給付金給付事業 3,064万6,000円
(令和5年の所得等を推計額で算定したため給付額に不足が出たため
国から1~4万円の不足額を給付)
- ごみ処理費 庁用器具費 297万5,000円
(ごみ焼却炉運転再開するため、ダイオキシンばく露防止対策用保護具として、
空気呼吸器購入費)

3月定例会（2月20日～3月18日）

議決件数（30件）

専決処分（1件） 承認

議案第2号 専決処分の承認を求めることについて 令和6年度箱根町一般会計補正予算（専決第2号）
補正額 2,500万円

【主な内容】 環境センターの焼却炉故障による、補修工事の必要が生じたため

条例制定（整理条例）（1件） 可決

第3号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

条例改正（11件） 可決

- 第4号 箱根町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について
- 第5号 箱根町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 第6号 特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第7号 箱根町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第8号 箱根町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第9号 箱根町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第10号 箱根町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 第11号 箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 第12号 箱根町水道法施行条例の一部を改正する条例の制定について
- 第13号 箱根町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 第30号 箱根町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

補正予算（3件） 可決

第14号 令和6年度箱根町一般会計補正予算（第6号） 補正額 5億1,704万5千円

【主な内容】
○過年度過誤納還付金追加 1,131万4,000円
○ごみ処理費経常経費追加 5,248万1,000円
○消防団員出勤報酬追加 330万4,000円
○学校給食無償化事業追加 140万円
○学校施設長寿命化事業 5億5,700万円
○宮ノ下駐車場整備事業更生減 - 1億845万4,000円

第15号 令和6年度箱根町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 補正額 1,000万円

【主な内容】 国民健康保険運営準備基金積立金追加

第16号 令和6年度箱根町介護保険特別会計補正予算（第2号） 補正額 15万円

【主な内容】 第1号被保険者保険料還付金追加

新年度予算（12件） 可決

第17号～第28号 令和7年度箱根町一般会計及びその他11会計予算（予算質疑8～10ページ）

工事請負契約の一部変更（1件） 可決

第31号 工事請負契約の一部変更について
箱根関所復元再整備事業工事の設計内容の変更
当初金額 8,675万7,000円から9,073万9,000円（398万2,000円追加）

議会議事案件（1件） 可決

第29号 箱根町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議員別議案賛否一覧

議案番号	議案名	議決結果	山田和江	鈴木美貴	勝俣陽二	佐藤章子	川口延明	勝俣剛一	丸子英人	村野由紀子	勝俣泰彦	稲葉親太郎	遠藤秀則	折橋尚道	沖津弘幸	山田成宣
3	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
4	箱根町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例及び箱根町町税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
11	箱根町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
12	箱根町水道法施行条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
17	令和7年度箱根町一般会計予算	可決	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	○	○	○	欠
18	令和7年度箱根町国民健康保険特別会計予算	可決	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	○	○	○	欠
19	令和7年度箱根町後期高齢者医療特別会計予算	可決	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	○	○	○	欠
29	箱根町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	—	○	○	○	欠

※ ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 —：議長は採決に参加しません。

さくら館を もっと町民に利用される施設へ (総合保健福祉センター費 経常経費)

勝俣 陽二 議員



- Q** 総合保健福祉センター費としては経常経費 1 億1,893万5,000円、整備事業の工事請負費 3,956万7,000円を合わせて、1 億5,850万2,000円が予算計上されているが、この額を考えた場合、施設全体がもっと町民の方に利用されなければならないと思うが、このことについて町の見解を伺う。
- A** 多様な目的で施設の利用が増えている状況であるが、今後も他課との連携や各種団体のニーズに対応しながら利用の促進を図っていく。また温水プールについても利用者増につなげるための方策を実施していく。

令和7年度予算を審議 3月議会の主な質疑応答

3月議会（2月20日～3月18日）では令和7年度の予算質疑が行われ、災害対応、子育て支援、観光支援政策など、現在箱根町が抱える様々な行政課題について、各議員から活発な質疑が出された。

質疑内容がスマホで見れます

詳しくはこちら 



土地建物貸付収入

佐藤 章子 議員



- Q** 町所有の土地、建物貸付収入についてその種類と件数を伺う。
- A** 総務貸地料と総務貸家料は財務課所管の普通財産を貸付しているもので、貸地料は76件924万6,000円計上している。主なものは、住宅敷、駐車場敷、水道温泉管の施設用地、建築資材置場、携帯電話などの無線基地局、電柱などの電気事業に係るものであり、貸家料は2件81万2,000円を計上している。その他、民生貸家は2件29万5,000円、企画貸地料は、3件824万9,000円となっている。
- Q** 町の財政が厳しい中、今後の歳入確保について伺う。
- A** 普通財産については関係課と調整を図り、財源の確保に努力していく。

ごみの運搬、 15年間で約10億円に (ごみ処理広域化推進事業)

山田 和江 議員



- Q** ごみ処理広域化では箱根町の湯河原真鶴衛生組合への事務委託料は7年度は半年分となっているが、8年度は単純に2倍したものが今後の費用負担と考えて良いか。
- A** 7年度は1億4,700万円なので8年度以降は約3億円を想定している。
- Q** 湯河原真鶴衛生組合への運搬費用はどのくらいかかるのか。
- A** 環境センターから湯河原美化センターまでの運搬に係る費用は、令和22年度までの総額は9億9,900万円になる。

65歳以上に WAONカード配付！ (物価高対策高齢者買物支援事業)

川口 延明 議員



- Q** 生活必需品等の物価が高騰している中で、高齢者支援を行うとのことであるが内容は？
- A** 昨今の物価高騰に対して電子マネーのWAONカード(5,000円入り)を6月頃に65歳以上の方に配付する。
- Q** 配付の方法とWAONカードはどこで使えるのか？
- A** 配付方法は該当者に引換券を送付し、引換券と交換で役場本庁、各出張所で電子マネーカードをお渡しします。使用できる店舗としてWAONカードは町へ来ているマックスバリュの「移動スーパー」やコンビニのローソン、ファミリーマート、仙石原の薬局ココカラファインで使え、町外でもWAONカードが使える店舗がある。

入りたくなる弥栄湯へ (弥坂湯利活用事業)

鈴木 美貴 議員



- Q** 町民説明会では、どのような意見があったか？
- A** 施設整備や利用料金のこと、なぜ町が整備をしないのか、浴室の拡大及びカラン数の増設や駐車場の整備等、多くの意見や質問があり、主な物は今の場所に入浴施設を継続してほしいという意見でした。
- Q** 本事業は令和7年度、8年度の2か年で債務負担行為を設定しているが、今後どのように進めていくのか。
- A** 令和7年度、町と事業者間の運営上の役割や費用負担について検討し地域住民へのサウンディング調査の結果報告を含め意見交換会を実施し、合意を図り令和8年度中の契約を目指す。

大規模建築物耐震化補助の 促進を (要緊急安全確認大規模建築物耐震化補助事業) 勝俣 泰彦 議員



Q 事業概要は？

A 平成25年に耐震改修促進法が改正され、耐震義務付け対象となった大規模建築物に対して、耐震化促進を図るため、耐震化経費に対して補助金を交付する。

Q 補助対象建築物とは？

A 大規模建築物の中から県が補助対象とする建築物で、災害時に避難生活者を100人以上一定期間に渡って受け入れるホテル・旅館で、箱根町と災害時における協定を締結した施設であり、民間建築物は15棟、公共建築物が2棟で、耐震改修が済んでいないものは民間建築物の2棟である。

Q 今後の見通しは？

A 事業実施後の対象建築物は民間の1件となり、本制度活用について促して行く。

観光費 集客・誘客について

勝俣 剛一 議員



Q 箱根町は観光が基幹産業であるが

ゆえに観光費イコール、誘客にはそれ相応の予算計上し、町内経済の活性化につなげなくてはならない。そこで令和7年度の予算において、どのような施策を主に実施するのか。

A 誘客宣伝事業における主な取り組み方針として、大阪関西万博等の効果が見込まれる対人イベントに出演。幅広く箱根を発信し、女性やファミリー層、若者や外国人等、新たな観光客層の開拓を実施する。また親善大使チョコレートプラネットの松尾さんを起用し、フェスを初めて開催し多くの箱根ファンの集客に資する。

固定資産税の状況は？

稲葉 親太郎 議員



Q 固定資産税（土地・家屋・償却資産）の納税義務者数及び町外との割合並びに個人法人の割合については？

A 納税義務者数14,976件、町内者数4,009件で26.8%、町外者10,967件で73.2%、個人11,522件、法人3,454件。

Q 滞納繰越分4,060万円についてはどのような状況なのか？

A 滞納額の上位10件で1,114万円となり、全体の約27%を占めており、高額案件の多くは法人で、個人は少数となっている。

教育施設の 積極的な取り組みを期待 (教育使用料)

丸子 英人 議員



Q 令和7年度予算の歳入「教育使用料」の公民館使用料及び、郷土資料館入館料、箱根関所観覧料につき第6次総合計画に於ける目標値との関係を含めて伺う。

A 公民館使用料は仙石原公民館ホール使用料が主な歳入だが利用実績が少ない為、文科省の社会教育法第23条の解釈についての事務連絡に基づき利用促進を図りたい。郷土資料館は目標値1万人と実績に対し高めの設定だが企画展や常設展示の入替等工夫を凝らして目標に近づけたい。箱根関所も目標値が30万人と高く設定されているが様々なイベントを展開し目標値に近づけたい。

地域医療体制推進事業について

遠藤 秀則 議員



Q 町内の医療機関の状況、元箱根木村医院の開院経緯と補助の推移について。

A 内科7、歯科3の10医療機関である。木村医院は平成23年5月に開院で補助は平成23年600万円、24年400万円、25年～27年各300万円、28年～令和6年は各500万円。

Q 現在まで14年と長い補助がされているが、どのような契約を交わされているのか、今後開院する医院にも同じように補助を行うのか。

A 経営安定での補助の覚書等、院内備品の一部契約である。今後、設置の経緯や状況によっては一次医療維持するため補助の可能性もある。

基準日の変更を！ (敬老祝金支援事業)

村野 由紀子 議員



Q この事業は、9月の敬老の日に関連して実施している。対象者は？

A 80歳の方は5千円を140名、90歳の方は1万円を70名、100歳の方は2万円を5名で、満100歳の方は国から祝い状及び記念品の贈呈と町長がご自宅を訪問。

Q 9月1日が基準日となっており、対象者であっても基準日前に亡くなってしまうことも考えられ、祝金を渡すことが出来ません。そこで対象者が誕生日を迎えた時点で渡す事ができないか。

A この制度は基準日にご存命の方が対象。他の自治体は祝い金を廃止したり、金額の見直しの縮小を行っているところもあるので、今後の方向性を研究したい。

湯本地区
公共施設利活用事業について

沖津 弘幸 議員



Q 事業の進捗状況や協議会の検討状況について。

A 地域の方々のご意見を踏まえ、スケジュールを見直し、湯本地域の各種団体から構成する協議会を設置して、地域内の合意形成を図る。トイレや休憩スペースなど地域における観光客の受け入れ体制の改善や、湯本エリアの魅力向上、地域防災の視点が、優先すべき機能や要素である。

Q 広く住民意見を聴く必要について。

A ある程度の方向性がまとまってきた段階で、別途地域住民や地元事業者等を対象に説明会を開催する。

休日の急病で困らないために
(休日急患救急医療推進事業)

折橋 尚道 議員



Q 休日に開院している病院に通院する

事業で、現在町内の6医療機関が輪番制で取り組んでいる。広報はこね等で周知されているが、より速やかに利用できるような工夫が必要ではないか。

A 現在、医療機関の順番については、8回を1つのサイクルとして、内3回を箱根リハビリテーション病院が残り5回を町内各医院が担当している。また、昨年より県が主体となった「#7119」と言う救急医療相談事業が始まり、病状に合わせたアドバイスや医療機関の紹介もしてくれるので、こうした事業の周知にも努めていく。

討 論

私たちは予算案をこのような理由で反対／賛成しました

日本共産党

反 対

本予算には在宅重度障害者支援として障害3級までの17人にタクシー券等の配付が予算化されたこと、仙石原文化センターの図書室に3,000冊の本の整備を行うこと、物価高騰対策として箱エールクーポン券の支給を求めている者として65歳以上の高齢者に5,000円の電子マネーを配付することは評価したい。しかし、固定資産税における「国際観光ホテル整備法」による不均一課税による40件、3,720万円の軽減がされていること、電子計算処理推進事業については国主導で自治体の膨大な個人と行政情報を標準化・共通化して利活用することは、管理方法を誤れば人権侵害や社会全体に深刻な事態を及ぼす危険があること、ごみ処理広域化では本予算において10億円を超える予算が一般会計を押し上げている。10月から下郡ごみ処理広域化が始まるが、さらに、今度は小田原市も含めたごみ処理広域化基本構想策定が提案されていることは認められない。最後に固定資産税の「超過課税」の解消を求める。

緑風クラブ

賛 成

令和7年度の予算編成も前年に続き、当町の柱である第6次総合計画後期基本計画に沿った予算を組んでおり、きちとした目標に沿った進め方である。

現在の大きな課題は働き手不足であり、箱根DMOや民間事業者と協力の上、解決策に向かってさらに進めることを望む。

町営の観光施設では対前年度予算でジオパーク観覧料が69万円増、当町のメイン施設であります箱根関所観覧料が120万円の減、湿生花園入園料は1,500万円減の3億6,300万円で計上、森のふれあい館がほぼ前年と同じ2万9,000円の増としてあるが、関所が辛うじて黒字であり、他の施設は赤字経営となっているので、基本の誘客営業には、きちと取り組みをして、民間が目標とするような事業所それぞれの収支で採算が図れるように指導を期待する。

今年度は新規の事業で「物価高対策高齢者買物支援」、「温泉地域診療所建設」、「多文化共生推進」、「立地適正化計画策定」が計上されているが、それぞれ高い成果が出るように取り組みを願う。

至 誠 会

賛 成

国際観光地箱根にあっては、基幹産業の観光業は回復基調にあり、賑わいを取り戻しつつありますが、全国的に進む少子化をはじめとする人口減少に起因して、人材不足や地域コミュニティの減衰など、コロナ禍の後に顕在化した問題は深刻さを増しており、社会経済情勢の先行きが見通せない中において、非常に難しい舵取りが求められている。

令和4年度からスタートした第6次総合計画後期基本計画は4年目を迎え、仕上げに向けた取組みと並行して、次期計画の準備に着手する重要な時期に差し掛かっている。

今後は、ごみ処理広域化に加え、温泉地域の診療所や第3号公共下水道など、町民の生活に密着した施設の整備に伴い、行政サービスのあり方も変わっていくことが想定される。

このため、デジタル技術や民間活力も活用しつつ、職員一人ひとりが、中長期的な視点も踏まえ、より一層の未来志向で取り組んでいくことを要望し、賛成討論とする。

委員会活動報告

2/6

教育福祉環境常任委員会報告

教育福祉環境常任委員会 委員長 川口延明

「湯本小学校校舎屋内運動場の長寿命化改良工事」の進捗状況を視察し、現場責任者から説明を受けた。その後、所管課と意見交換を行った。

委員からの意見として

- 屋内運動場内部の足場の撤去スケジュールについて。
- 給食室の工期は9月からの給食に間に合うのか。
- 災害時には避難所としての利用を想定した環境整備はどのようなになっているか？
- 現在まで工事中の事故や近隣で土木関係の車両によるトラブルの発生等確認されていないか？
- 居ながら施工ということで、ほこりを感じたが教室内への影響や対策は？
- 追加工事説明のなかで、駐車場になるスペースに若干水が出ている場所があったが、どのようにするのか？
- 現時点の工事費総額の見込みと国庫補助金、町負担の割合は？ などを確認した。

続いて、環境センターの焼却炉等を議題とした委員会に移り、昨年12月に焼却炉の運転が停止されてからの経過と詳細な説明を求め、特に粗大ごみの工事業者から作業環境について指摘された点についても経緯と詳細な説明を求めた。

今後は令和4年度から作業に従事している作業員の健康状態について、関係者からの要望もあり、町としてダイオキシンに対応した健康診断を受診するよう調整をしていることを確認した。

また、このような事案が発生した場合は速やかに議会、委員会と情報の共有等ができるように対応をするべきとの要望をした。



湯本小学校校舎屋内運動場にて

気仙沼DMO（気仙沼観光推進機構）視察研修会

熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会

3/24・25



熱海市・湯河原町と共に構成する協議会で、気仙沼DMOを視察しました。水産業が中心であったこの市は、東日本大震災後の復興にあたり、「観光業」をもう一つの基幹産業として、DMOを中心に民間事業者を含めた地域一体型の新たな町づくりをしています。

(折橋尚道)

町村議会広報クリニック

広報広聴委員会

2/14



全国町村議員会館で開催された町村議会広報クリニックに3名で参加。

講師は、議会広報ファシリテーターで熊本大学客員教授の超地真一郎氏。議員の活動報告欄は、町民との繋がりが感じられる等や色使いが白黒なのは残念とのコメントでした。今後も編集力向上に頑張ります！

(村野由紀子)

議

員

活

動

報

告



皆さんの日常的な活動に参加し、報告していきます。情報ください



2/5

町産業振興勤労者表彰式

文化センターで、町内事業所の発展に貢献し職場の模範となる永年勤労者の功績をたたえ、各事業所から20年以上、30年以上勤務されている表彰の対象となる方を推薦していただき、33名の方々が表彰されました。おめでとうございます！
(村野由紀子)



1/28

議長・副議長・事務局長合同研修会

令和6年度神奈川県町村議会議長会議長・副議長・事務局長合同研修会が去る1月28日に神奈川県自治会館にて開催されました。当町から、山田成宣議長と私、石川事務局長が出席。当日、神奈川県町村議会議長会13町1村の計14町村から39名が出席されました。
(稲葉親太郎)



3/4~11

おゆづりweek

子育てシェアタウン推進事業として、春の暮らし・子育て応援「ゆずるよコーナー」が3月4日(火)～3月11日(火)まで役場本庁舎住民ホールに常設され、子ども向けの衣類や靴、絵本などの他、食器、調理器具、CDなどが寄せられ、最終日には多くの品物がなくなっていました。
(鈴木美貴)



3/4

箱根DMO主催

バリアフリー観光セミナー

誰もが安心出来る観光地「世界のHAKONE」を目指してと題し、視覚障がい、乳がん、車いす利用者それぞれの立場から、誰もが気兼ねなく旅行を楽しめるため必要なことについての講演がされました。
(鈴木美貴)

3/15~23



箱根湿生花園 『世界の雪割草展 in Hakone』

箱根湿生花園では開園に合わせて「世界の雪割草展」が催されました。NHK「趣味の園芸」でも知られる雪割草研究家の大野好弘さんを講師に3月20日、講演会が開かれました。会場は満席で、新種の発見や海外研究の成果、貴重な資料の解説等に参加者皆様は興味津々でした。
(丸子英人)



3/23・30

さくらライトアップ準備作業

宮城野木賀観光協会主催による、箱根町の春の訪れを彩るさくらの開花に合わせ、早川堤ソメイヨシノ及び国道138号枝垂れ桜のライトアップ準備作業を、地元自治会及び会員並びに業者さんのご協力の下、3月23日・30日の2日間準備作業を行いました。(稲葉親太郎)



定期的に土曜日に催される
関所ガイドツアー
(詳細な日程は関所ホームページの
お知らせより確認できます)

3/22

箱根関所「関所ガイドツアー」

箱根関所でガイドツアーが催されました。ガイドツアーでは普段は未公開の大番所にもガイドの案内で入ることが可能です。当時の史料と完全復元の建屋から江戸時代と関所を体感することが出来ます。(関所ガイドツアー開催情報は事前に箱根関所へご確認ください) (丸子英人)



3/26

大磯町議会議員来町

大磯町議会・議会運営委員会の皆さんが来町されました。

大磯町議会の議会改革検討事項の一つである、災害時議員行動マニュアル作成について、箱根町議会の災害時議員行動マニュアルを参考とするため視察され、意見交換等を行いました。(勝俣泰彦)



3/25

仙石原すすき草原山焼き

天候不順のため延び延びになっていた「山焼き」が実施されました。前日の雷雨の影響もあり、なかなか火入れが難しい状況にありましたが、燃えだすと炎の迫力に圧倒されました。この「山焼き」により、今年の秋の「すすき」が非常に楽しみです。(勝俣陽二)

3/26

横浜国立大学との連携取組事例発表会

令和6年度大学連携取組事例発表として、横浜国立大学経済学部2つのゼミに所属する学生が経済学の視点で、調査・研究し活動した成果を発表し、意見交換(ポスターセッション)の場面では学生と参加者の会話が盛り上がっていました。(鈴木美貴)





3/27

さくら公園植樹

宮ノ下川久保発電所に隣接するさくら公園、植えられていた桜がシカの食害にあって枯れてしまったので、新たに山桜の苗木を宮ノ下自治会関係者と役場の職員の方々と共同で植えました。今回は食害防止ネットを被せて完成です。

(折橋尚道)



3/27

箱根の湯立獅子舞奉納

箱根仙石原神楽保存会員の皆さんにより、湯立獅子舞が仙石原諏訪神社に奉納されました。

会場は地域の方々や多くの外国人観光客他で賑わいを見せ、神事終盤の「湯立の行」では、獅子が笹の葉で掻き回した湯を振りかけてもらい盛り上がっていました。

(勝俣泰彦)



4/13

第38回ケンペル・バーニー祭

当日、外ではマメザクラが満開でしたが、花散らしの雨の為、式典から懇親会まで元箱根集会所にて開催されることになりました。牧野記念庭園の伊藤千恵学芸員より『植物分類学者・牧野富太郎の生涯』の記念公演がありました。

(佐藤章子)



4/10

行財政改革調査特別委員会

観光まちづくりの充実や維持に係る財源のあり方に関する検討会議のこれまでの経過や、現在進めている財源確保策の絞り込みに向けた進捗状況について報告がありました。(稲葉親太郎)

4/13

春の交流！ はこねつながりひろば 「さきどりイースター」

星槎大学箱根キャンパスで、子育てシェアタウン春の交流！ はこねつながりひろば「さきどりイースター」が開催されました。おもちゃのイースターエッグを隠したり、イースターバニーをモチーフにした飾りに色を塗って楽しんでいました。また、使わなくなった洋服などのゆずりあいがあり、各々気に入ったものを持ち帰りました。

(鈴木美貴)





4月は、「宮ノ下箱根神社」と「大平台山神神社」の例大祭が開催されました。

宮ノ下は、夜宮に大道芸パフォーマンスや演歌歌手による歌謡ショーがあり、翌日の神輿渡御は雨天となってしまいましたが、多くの人に参加されていました。

大平台は、天候に恵まれ、山車と神輿渡御が行われました。特に、夜宮で曳かれる山車で子供囃子の小気味よい音色が町内に響き、祭りを盛り上げていました。
(折橋尚道)

議長フोटレポート



町体育協会表彰式



第32回
やまなみ芸能大会



箱根の森小学校卒業式

お知らせ

議会報告会を開催します

次のとおり実施しますので皆様のご参加をお待ちしております。

日時 5月15日(木) 19時
場所 社会教育センター
3階 軽スポーツ室
内容 令和7年度予算審議等

どなたでもご参加いただけます。

6月定例会開催予定日

本会議

6月10日、13日、18日

※6月3日開催の議会運営委員会において決定いたしますので、変更となる場合があります。
詳しくは、議会事務局(☎85-9570)までお問い合わせいただくか、町議会ホームページの議会カレンダーをご覧ください。

箱根町百景めぐり



パウル・シュミットの顕彰碑



ご近所にて談笑するパウル・シュミット氏



シュミット商会スタッフ 箱根芦ノ湖湖畔にて 別荘裏にて談笑するシュミット氏 (左)



別荘赤門前にて



別荘裏にて談笑するシュミット氏 (左)



シュミット商会の皆さん (湖畔にて)

箱根駅伝の芦ノ湖折り返し地点のそばに駅伝ミュージアムがあるのは皆さんご存じだと思いますが、今から119年前の1906年(明治39年)に、その地に外国人として初めて日本に別荘を建てた方がいました。その方の名は「パウル・シュミット(1872～1935)」氏、戦前に日本に住んでいたドイツ人でシュミット商会を設立し、ライカのカメラやメルクの医薬品を輸入しました。

またレントゲンを初めて日本に輸入したのもシュミット商会であると言われております。

箱根駅伝ミュージアムはその別荘跡地です。

そのシュミット別荘は芦ノ湖の岸まで続く庭付きの2戸建て美しい住宅であり「赤門」と呼ばれていました。それに小さなボートも持っており、家の右の部分に彼と彼の客が滞在しました。他のドイツ人同僚(8、9人)は、台所といくつか寝室のある左の部分に滞在していたそうです。

元、別荘の近くの苑地内には彼の功績の標である顕彰碑が建てられています。

投稿者・川口延明

編集後記

議会だよりを4ページ増やして1年が経過しました。この間、一般質問を前面に押し出し、新たに議員活動報告などの掲載を行いました。私たちは、皆さんと共に活動しながら、ご意見をいただき議会に反映しております。これからも読みやすく、身近な様子を掲載していきますので情報があれば、各議員にお伝えいただければ幸いです。(折橋尚道)

広報広聴委員会

委員長

村野 由紀子

副委員長

折橋 尚道

委員

鈴木 美貴・勝俣 陽二

佐藤 章子・勝俣 泰彦

